

進路だより

第9号

令和7年1月31日発行

文責：東豊高校進路指導部

毛筆：書道部

イラスト：イラスト部

美術部

ついこの前、お正月が来たと思っていたけれど・・・



2025年が始まって、もう1ヶ月が経ちました。ついこの間、新年のカウントダウンをしたと思ったのに、もう最初の1月が終わろうとしています。今年も残すところあと11ヶ月となりました。

「光陰（こういん）矢のごとし」・・・「光陰」とは「光」と「陰（かげ）」のことで、日が射すことと、日が陰ることで、太陽が巡っていることを表しています。つまり「光陰」とは「時間」のことです。「矢のごとし」とは「矢のようである」という意味。「光陰矢のごとし」は「時間は矢のように『ヒュー』とあっという間に過ぎ去っていく」という意味です。

3年生は、今日で最後の考査が終わり、明日、2月からは「家庭学習期間」に入ります。そして、1ヶ月後の3月1日は卒業式です。きっと、3年生の胸には「光陰矢のごとし」が実感されていると思います。

1、2年生も同じ実感を持っているのではないのでしょうか？

ところで、3月の終業式まで、あと何日なのでしょう？ 数えてみましょう。明日2月1日から終業式の3月24日までをカウントすると、あと52日です。意外とあるなぁと感じる人もいるかもしれませんが、登校日数となるとぐっと減ります。あと32日の登校日数となります。今年の冬休みは23日間でしたから、32日なんて、本当にあっという間だと思えます。では、終業式までの予定を確認しましょう。

2月 3日（月）～27日（木） 3年生家庭学習期間

2月 5日（水） 後期期末考査1週間前（部活動、アルバイト禁止）

2月12日（水）～14日（金）後期期末考査

2月13日（木） 卒業認定会議（3年生が卒業出来るかどうかを確認する会議です）

2月14日（金） 第3回数学検定

2月17日（月） 追考査（1）

2月18日（火） 追考査（2）

2月19日（水） 卒業追認会議

2月21日（金） 成績入力（今年度1年間みんなの成績を出す日です） 2年生スキー遠足

2月26日（水） 成績一覧表提出（2/21の成績入力の結果が一覧表で出ます）

2月27日（木） 卒業式の式場設営（2年生頼みます） 1年生探求活動（1時間目～6時間目）

2月28日（金） 同窓会入会式 卒業式予行（3年生登校します）

3月 1日（土） 卒業式（1、2年生休業日）

3月 3日（月） 高校入試のための試験会場設営

3月 4日（火） 学力検査（生徒休業日）

3月 5日（水） 面接（生徒休業日）

3月 6日（木） 採点（生徒休業日）

3月11日（火） 進級認定会議

（1、2年生の進級を確認する会議です。完全下校）

3月13日（木） 高校入試合否判定会議（完全下校）

3月24日（月） 終業式・離任式



この時期の過ごし方

毎日めまぐるしく何かが行われる時期です。1、2年生がこの時期に大切にしたいことは「**新年度0（ゼロ）学期**」のイメージを持つことです。オープンキャンパス等への参加、保護者との話し合いを経て、進路志望の方向性を探ってください。3年生の皆さんも4月1日からの自分を想像して、生活のリズムを整えてください。そのためには**1、2年生は進級し成績を向上させること！3年生は卒業すること！**

あと52日。
32回の登校日
だよ。



2 学年体験型企業説明会



体験型企業説明会が行われました！

11月12日（火）本校で体験型企業説明会が行われました。7つの企業が参加し1人2企業の体験をすることができました。短い時間でしたが、普段体験することのない仕事が出て大変貴重な時間を過ごすことができました。

北斗重工 実際にティグ溶接をさせていただきました。



トヨタカローラ札幌

いろいろな車に試乗しました。自動運転による駐車も体験することができました。



札幌塗装工業協同組合

サイディングの塗装体験と調色を体験しました。



石上車両

紫外線などにより曇ってしまった自動車のヘッドライトの研磨をしました。はじめは曇っていたライトが、とても綺麗になり驚きます。



三ツ星レストラン

「なごやか亭」や「ぼくぜん」などの飲食店のグループです。接客について学び、実際に挨拶の仕方などを学びました。



北札幌電設



ケーブルの端末処理やロープの縛り方などを体験しました。細かな作業も多く苦戦しました。

田中一樹行政書士事務所

内容証明郵便業務、後見業務、相続業務など普段経験しない、行政書士の仕事について学びました。家庭科で勉強したことが出てきました。



体験型企業説明会って何？

いろいろな職業を体験することによって、働くということについて深く理解し、自分に合った職場を見つける機会の一つです。

令和6年度参加企業様

- ・田中一樹行政書士事務所
- ・トヨタレンタリース新札幌
- ・石上車両
- ・三ツ星レストランシステム
- ・北斗重工
- ・北札幌電設
- ・札幌塗装工業協同組合



今の努力が未来をつくる。

進路選択は一度きりのものではなく、成長と共に変わるものです。5年後、10年後の自分を想像し、そのために今何をすべきかを考え、より具体的に意欲的な目標設定をしていきましょう。

🌱 インターンシップに行ってきました。

インターンシップで、いろんな体験ができました！



11月13日・14日の二日間インターンシップに行ってきました。
学校内では絶対に得られない貴重な体験ができました。

1年生の皆さんも、来年度にインターンシップに参加することを強く
お勧めします。

参加すれば、進路に対する視野が必ず広がります。
次年度もより良い体験を得ることに期待します。

impression

インターンシップ楽しかったです！

インターンシップの感想を紹介します。



トヨタカローラ札幌

今回の実習で、以前よりも車に興味を持つことができました。将来トヨタで働きたいと思いました。



ふれあいケアサービス

はじめは緊張してしまいましたが、利用者さんたちとコミュニケーションをとれて良かったです。一緒にしたゲームも楽しかったです。



札幌高級鋳物

実習では、4.5Kgのダンベルを作りました。工場は、大きくて迷子になりそうになりました。また機会があったら行きたいです。



リッジワークス

プログラミングは、とても難しかったです。それを淡々とこなしている社員さんを見てすごいと思いました。貴重な体験ができました。



インターンシップ先の方から

インターンシップ終了後、担当の方と話す機会がありました。どの実習生もとても頑張っていたとお褒めの言葉をいただきました。その時に働くために必要な力についてうかがうと共通して次のような答えが返ってきました。

1. コミュニケーション能力: 他の人との効果的なコミュニケーションができること。
2. 時間管理: 任された仕事を期限内に終わるための自己管理能力。
3. 積極性: 自ら進んで仕事を見つける姿勢。
4. 柔軟性: 新しいことを学び、状況に応じて対応できる能力。
5. チームワーク: チームで協力して目標を達成するための協調性。

これからの学校生活をこの5項目を意識して過ごしてみましょう。

橋本先生にインタビュー「東豊生って、どんな感じですか？」

本校に、時間講師としてお勤めでいらっしゃる橋本先生ですが、本業は「教育コンサル」の肩書きを持ち、悩みを抱えた生徒の相談に乗ったりしています。また、他の学校にも時間講師としてお勤めです。そんな橋本先生の目に「東豊生」がどう映っているのか、聞いてみました。

インタビュアーは2年2組の進路係、笠松君、柏村君、後藤君です。2025/1/24にインタビュー。



【橋本雄大先生】

『学びのコンサルタントCAB』を運営。不登校に悩む生徒、発達障害、知的障害を持つ人やその家族、学校、企業などの相談・支援を行っています。本校には週3日間、合計6時間、3年生の理科の授業を受け持ってくださいました。

進路係(この後「係」)「本日はよろしくお願いします。」

橋本先生(この後「橋」)「こちらこそ。」

係「早速ですが、東豊高校の生徒って、どんな感じですか？」

橋「じゃ、まずは良いところから(笑)。東豊の生徒は正直で素直という印象が強い。挨拶がとても良い。これまで8校まわってきたけれど、**素直な気持ちから出る挨拶は東豊が一番です。**で、次は悪いところなんだけれど、GTZのDゾーンが7割を占めています。他校は5割くらいなんだよ。理屈を言っても3~5回言わないと通じないという場面が多々あります。これは、先生も生徒も共に頑張らなければならないと思うよ。」



係「他にありますか？」

橋「遅刻が多い。これは本人のせいばかりではない部分がある。学校が楽しかったら来るよね。」

係「来ますね。」

橋「朝起きられない→遅刻する→学校でいろいろ言われる→いやになる、という悪循環なんだろうと思う。だから遅刻も多くなる。うちの社員にも『今日、ちょっと調子が悪いから午前中休息をとりますので遅刻します』という連絡があったら、『いいよ』って言います。人間いつも絶好調というわけではないので、気分が乗らないときもあると思うから、しっかりと事前に連絡をくれればいいと思っています。悪い遅刻ばかりではない。ただし、なぜそのような気分になったのか、どうやったらそれを解決できるかを考えなければならないよね。」

係「はい。」

橋「それに伴ってなんだけれど、東豊のめちゃくちゃ悪いところはズバリ『社会人力』がないということかな。」

係「社会人力？」

橋「『社会人力』って簡単に言うと、『ハウレンソウ(報告、連絡、相談)』、特に『**メモを取る**こと』です。さっきの遅刻も、遅刻が多い人はちゃんと事前相談しているかってところなんです。提出物だって忘れたら、普通は担当の先生のところに行って事前に相談するよね。例えば『今日は提出できないから、明日まで持ってきます。お願いします』って。東豊の生徒はその事前相談が圧倒的に少ない。」

係「(うんうんとうなずく)」

橋「で、『明日まで持ってきます。』と言った後、先生から『わかったよ。じゃ、明日の9時までに持ってくるように』ってことになった時、メモを取っているかっていったら取っていない。これは、自分が忘れないようにっていうこともあるけれど、先生に対してそれ(メモを取る姿)を見せることで『自分は明日忘れない』ということをお互いに確認するってことになるんだ。」

係「(うんうんとうなずく)」

橋「メモを取る能力ってとても大事で、今年、高卒の生徒を採用したんだけど、面接の時、私の言ったことを全部メモしてた。その場で内定を出したよ。」

係「ええっ！」

橋「それくらい、私はメモを重要視しています。うちの社員によくセミナーに行かせるんだけど、帰ってきたその社員に『どうだった?』って聞いて『はい、楽しかったです。ためになりました。』だけだとダメだよ。だってセミナーって参加費が30~40万するんだから。メモを100%取ってれば、再現度100%で、その社員が別の社員に同じセミナーができるでしょ。メモの力ってすごいものがある。だから誰かの話を聞きに行くとき手ぶらで行くのは怖いよ。メモを持って、メモを相手に見えるようにした方がお互いに安心じゃん。社会人ってそうやって『ハウレンソウ』をするんだけど、この『メモ』って学校で言い換えれば何になる？」

係「『ノート』ですか？」

橋「そう。だから、今みんなにできることは**ノートを取ることを習慣化**すること。ただ板書されたものを書くだけでは不十分。それだと再現度100%にならない。**板書の他に先生の言ったことを全部メモする。**そういったことをするとメモを取る力がつくよ。そして繰り返しになるけれど『事前相談』をすれば、一人で悩むことがなくなる。自己解決しようとしなくていい。東豊生の悪いところは自分が失敗したら自己解決しようとする。それはダメ。正直に言おう。正直に言って相談に来れば、話を聞いてくれるし、話をしてもくれる。もっと大人を信頼していいと思うよ。」

【感想】率直にとっても良い話が聞けたと思いました。普段の私たちには「**経営者**」の立場の人からの話を聞く機会がめったにありません。学校の先生方とは違う切り口でいろいろなことを知ることができたことはとても貴重な時間でした。私たちは自分の高校である「東豊高校」にあまり良いイメージを持っていませんでしたが、「**挨拶が素晴らしい**」と言われて嬉しかったのと、意外と良いところもあるんだと見直すきっかけになりました。また、「**メモ**」を取ることの重要性はこれまで考えたこともなく、早速実践していこうと思います。**いきなり再現度100%は無理なので、まずは60%から始めていこう**と思いました。難しいことをわかりやすい言葉で教えていただきました。橋本先生、ありがとうございました！

3年生は明日から「家庭学習期間」に入ります▼「卒業」の二文字がいよいよ現実味を帯びて迫ってきましたね▼皆さんにとっての3年間は、同時に先生方にとっても3年間で最も重要な時期です▼特に担任の先生方、3年生に注いだ情熱と意欲は他の先生方にも追いつけないと思います▼先生方の期待に応え続けようとした3年生の皆さん、皆さんの情熱もほとぼしるものがありました▼3年生の皆さんと担任の先生方、2年生の後輩たちと職員の間、全員がそれぞれ東豊高校です▼3年生の皆さんは、そんな東豊高校をもうすぐ後にします▼何かやり残したことはありますか？誰かに伝えきれなかった思いはありますか？▼悔しい、時間はありますか？▼を残さずこの東豊高校を巣立ってください▼晴れとした笑顔で別れを言ってくださいね▼涙でも、担任の先生は涙、涙でございまして▼泣き止んで先生を巣立たせる市担だ先生は、ぼろ泣きする学習期間、準備万端で4月を迎えること▼もう、おこななきや、ですよ！

流汗拓道